

あ、カーテン、 今日も開いたね。

見てるだけ。それも確かな地域の力

毎朝6時。安武町で暮らす浦田さんが決まって”半分だけ”カーテンを開けるのは、
今日も何事もないというサイン。
襟が擦り切れるほど愛用しているチェック模様のはんてんは、浦田さんのトレードマーク。
遠くからでもすぐに「浦田さんだ」と分かります。
一人暮らしの浦田さんを支えるのは、周りの人々が向ける温かな意識です。



“気に掛ける”が増えると“安心”が増える

ひきこもり、ホームレス、ダブルケア、8050問題。生きづらさを抱える人が増える昨今。苦しいときに手が届くような、誰もが安心して暮らせる社会であるためには何が必要なのでしょうか。

大切なことは「多くの人が地域や人と関わること」だと言われています。自治会活動やPTA、サロンなどへの参加、市民活動など関わり方は様々。中でも一番簡単な方法は“身近な人を気に掛ける”ことです。

浦田さんが朝カーテンを開けないとき、思ひがけない場所ではんてん姿の浦田さんを見たとき、それを気にする人が居ます。隣の人を、知り合いを、ただ気に掛ける。見えない支え手がたくさんある街だったら安心じゃないですか。

見守りは確かな地域との関わりです。



地域で感じた温かな関わりエピソードを紹介した
特設ページ「地域福祉って何」はQRコードから

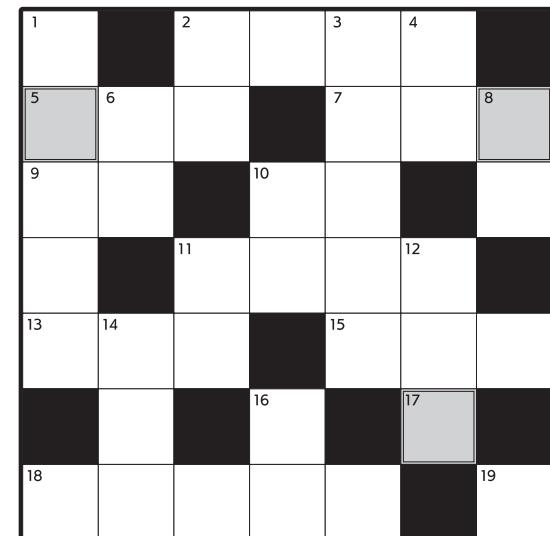


■ クロスワードで「地域福祉」

誰もが住みやすい街になるためには、大切な視点があります。そういった言葉でクロスワードを作つてみました。市ホームページに掲載しているWEBコラム「みんなで生きる、みんなが活ける」の該当話にもヒントがあります。答えは、特設ページ「地域福祉って何」に掲載。



WEBコラムのQRコード



答え みんなで
タテのカギ 5 8 17
ヨコのカギ

・タテのカギ

1. 「気に掛け合う人が増え、それが地域への〇〇〇〇〇につながる」【第6話】
2. 値打ち。品物の良し悪し。
3. 〇〇〇〇〇だけが動くのではなく、飲食店にも協力を依頼【第3話】
4. 森林に住む、歯がするどく、太くて丸い尾を持つ小型の動物。
5. でんぶん質の物を煮て作った、ねばりけのあるもの。物を貼るのに使う。
6. 大気中の水蒸気が集まって小さな水滴となり、煙のように立ち込めるもの。
7. うすく平たい形をしたもの。とくに木を平たく切ったもの。
8. 見分けがつかないほど、よく似ている様子。「〇〇ふたつ」。
9. 英語で爪のこと。
10. 春になるとツクシと呼ばれ食べられる植物。
11. 豚肉にパン粉をまぶして揚げたら「トン〇〇」
12. 筑後弁で「かさぶた」のこと。

2. 迷惑を避けて遠慮し合う風潮を超え、「〇〇〇〇ながら生活しないと」【第5話】
5. 「地域ぐるみで意識を持たないと、守れない〇〇〇がある」【第2話】
7. 駅伝で次のランナーに渡すもの。
9. 土ぼこり・ごみ・紙くずなど。
10. 手で持てるくらいの岩の小さいもの。
11. 眠るつもりがないのに、ついうとうとと眠ってしまうこと。
13. 病気やけがを治すために、飲んだり塗ったりするもの。
15. オンライン公民館は「〇〇〇との関わり方に起こった革命」【第1話】
18. 「誰かと〇〇〇〇〇いたいという気持ちの面が意外と多い」身元保証支援【第4話】

音声コード

